

【2018年6月／2018年7月】ポプラ社一般書単行本 刊行予定

※配本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

6月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
エッセイ	6月7日	15922-4	芸は人なり、人生は笑いあり 歌丸ばなし2	桂歌丸	1,200	四六並/ 1色	240	1936年横浜市生まれ。中学在学中に古今亭今輔に入門、のち桂米丸門下へ。歌丸で真打ち。テレビの「笑点」では司会(5代目)を務め、全国的な人気を誇る。新作派から古典派に転換。歌舞伎好きで、多くの芝居噺に独自の視点を当てる。平成に入ってから本格的に圓朝作品に取り組み、他の追隨を許さない。2004年より(社)落語芸術協会会長に就任。	桂歌丸ベストセレクションとして、特に近年、好んで取り上げることの多い演目をご自身が選び、採録。大好評『歌丸ばなし』の続編です。ふだんなかなか生の落語を体験することができない人に、落語の魅力、笑いの楽しさを改めて知ってもらえる、しみじみ楽しい一冊です。
文芸	6月7日	15510-3	エンディングドレス	蛭田亜紗子	1,500	四六上/ 1色	240	1979年北海道生まれ。大妻女子大学文学部日本文学科卒業。広告代理店勤務を経て、2008年第7回「女による女のためのR-18文学大賞」大賞を受賞。2010年、『自縄自縛の私』でデビュー。この作品は2013年、竹中直人監督で映画化された。その他の著書に『星とモノサシ』『人肌シヨコラリキュール』『フィッターXの異常な愛情』『凜』など。	私の人生最後に着る服は、私がつくりたい。重い持病を持っていた夫の弦一郎を亡くし、あとを追うことを考えた32歳の麻緒。首をつるためのロープを買いに行った刺繍洋品店で、麻緒は”終末の洋裁教室”という奇妙な張り紙を見つける。再生のその先の成長を描く、いつまでも心に残り続ける感動の物語
ビジネス	6月7日	15921-7	偏差値35から10億稼げるようになった すごい勉強法	金川顕教	1,500	四六並/ 1色	208	31歳。三重県生まれ。両親の離婚をきっかけにヤンキーに。偏差値35から一念発起し2浪の末、立命館大学に入学。大学在学中に公認会計士試験に合格。世界一の会計事務所デロイト・トウシュートーマツに入社。しかし、入社3年後に始めたネット副業をきっかけに独立。著書は数多いが堅実な売れ行き。	偏差値35のヤンキー高校時代に突然勉強に目覚め、受験勉強を開始。結局2浪し大学入学後「在学中に公認会計士試験突破」という高いハードルを設け、勉強法を極めたことで、軽々とクリア。人生を愉しみながら、限られた時間だけの労働で年収数億を稼ぎ出す。単なる勉強法にとどまらず、時間の効率化やマインドセットなどからビジネスでのアイデアの見つけ方など超実践的な発想法までをまとめた一冊。
音楽・ノンフィクション	6月7日	15839-5	ノー・ディレクション・ホーム ボブ・ディランの日々と音楽	ロバート・シエルトン	7,800	A5上・ 函入/ 1色	896	1926年生まれ、95年没。「ニューヨーク・タイムズ」のスタッフ・ライター時代から、グリニッチ・ビレッジ界隈の数々の若き才能を発掘、その影響力のある批評はアメリカ全土で読まれた。無名時代からディランの才能を見抜き支持した伝説のジャーナリスト。	ボブ・ディラン、1978年の初来日武道館公演から40年、ノーベル文学賞受賞後初の来日決定！(FUJI ROCK FESTIVAL2018)デビュー当時から、もっともディランを知る男が、本人のみならず家族や周辺にまで丹念な取材をかさね、20年をかけて編み上げたディラン評伝の決定版！本邦初訳。スペシャルBOX仕様、ファンなら必ず入手したい一冊。
コミックエッセイ	6月18日	15923-1	手に持って、行こう ダーリンの手仕事にっぽん	小栗左多里 トニー・ラズロ	1,100	B5変並/ 2色	160	小栗左多里(おぐり・さおり)：夫のトニー・ラズロ氏との日常を描いた『ダーリンは外国人』シリーズ、英語と日本語の不思議や違いを描く『ダーリンの頭中①～②』など、著者累計部数は400万を超える。トニー・ラズロ：ハンガリー人の父とイタリア人の母の間に生まれ、アメリカに育つ自他ともに認める「語学オタク」であり、多言語を解する。	何をつくらう、どう使おう。道具と出会い、暮らしが広がる。トニー&さおりのモノづくり奮闘記！関の刃物、美濃の和紙と器などの作り手に会い、実際に道具を作ってみたら、面白い日本の姿が見えてきた！『ダーリンは外国人』シリーズでおなじみ、小栗左多里さんとトニーさんによる、日本の古き良き手仕事を再探索できる楽しい一冊！

7月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
実用	7月2日	15939-2	150冊執筆売れっ子ライターのもう 恥をかかない文章術	神山典士	1,400	四六並	240	1960年、埼玉県生まれ。デビュー作で小学館第3回ノンフィクション大賞優秀賞を獲得。『ピアノはともだち 奇跡のピアニスト辻井伸行』で全国読書感想文コンクール課題図書選出。『週刊文春』にて『全璧の作曲家はベテナーだった！ ゴーストライター 懺悔実名告白』を発表。社会的な反響を呼び、同記事は第45回大宅壮一ノンフィクション賞(雑誌部門)を受賞。これまで、ゴーストライターでの書籍も含めると150冊を超える執筆数を誇る。	小学館ノンフィクション大賞で作家デビュー、2014年に、週刊文春に「佐村河内ゴーストライター事件」で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した著者による初の「書き方本」。本書は、実際に「書き方教室」で生徒が書いた例文を数多く取り上げ、それに対する著者の修正を入れた「回答」を掲げることでより実践的に「文章術」が学べる構成になっています。
文芸	7月17日	採番中	跡を消す 特殊清掃会社デッドモーニング	前川誉	1,500	四六上	288	1986年、宮城県生まれ。看護師として働くかたわら、小説を書き始める。2017年、「跡を消す」で、第7回ポプラ社小説新人賞を受賞。	学生時代の挫折から、人とかかわりを恐れ、フリーター生活を送る浅井裕太は、ひよんなことから、飲み屋で知り合った、笹川会社「デッドモーニング」で働くこととなる。そこは、孤立死や自殺など、わけありの死に方をした人たちの部屋を片付ける、特殊清掃の会社だった。人間が死んだときの痕跡が残された現場の様子に衝撃を受けつつも、なんとか仕事をこなすようになりー。ポプラ社小説新人賞受賞の大型新人デビュー作！
文芸	7月24日	15952-1	夏空白花	須賀しのぶ	1,700	四六上	420	1994年『惑星童話』でコパルト・ノベル大賞読者大賞を受賞しデビュー。16年『革命前夜』で第18回大藪春彦賞受賞、第37回吉川英治文学新人賞候補。『また、桜の国で』で第156回直木賞候補。『夏の祈りは』で「本の雑誌」が選ぶ2017年度文庫ベストテン」1位、「2017オリジナル文庫大賞」受賞。	1945年夏、終戦を迎えた日本。自らの信じていた誇りを失い、昨日までの正義が否定される。誰もが呆然とする中、朝日新聞社に乗り込んで来た男がいた。何もかもがなくなった今だからこそ、未来の日本を担う若者の心のために、高校野球大会を復活させなければいけない、と言うー。大注目の作家・須賀しのぶが高校野球100回大会の熱い熱い夏に贈る、感動の歴史超大作！

この新刊案内に対するお問い合わせは、ポプラ社営業局 TEL:03-3357-2212 /フリーダイヤルFAX:0120-53-6188